

区役所からの情報発信について…

《意見まとめ》



★役立った点／良いところ★

広報紙

- ・見やすい 《A》
- ・（病院）一覧が載っていてわかりやすい 《B》
- ・写真／インタビューが興味を引き、周辺記事も併せて読む 《C・D》

SNS

- ・災害時の情報取得（ブルーシートや土嚢配付情報も含む）に有効 《A・B・C・D》
- ・災害時に各地域の情報がわかる 《C》
- ・タイムリーな情報を得られる 《C》

HP

- ・窓口の待ち状況がわかるのは便利 《A・B》

広報版

- ・定期的に情報が更新され、アナログ的でいい 《C》



☆足りない点／良くないところ☆

広報紙

- ・普段の生活に関わる情報があまりないように感じるので、身近な情報を目立つところに掲載してほしい 《B》
- ・新聞を取っていない人には届きにくい 《C》
- ・いつも同じ場所に置き、そこに行けば情報を取得できるということが大事 《C》
- ・普段の取組を掲載し、地域のつながりに繋げていくことが大切 《C》
- ・内容がさらに深く広くなればいい。子どもも興味を持つように子ども向けのコーナーを作ってはどうか 《D》
- ・子どもがいる家庭に見てもらえるような配布方法や周知方法がないかの検討が必要 《D》
- ・区民にどういう内容がいいか、意識調査やアンケートをしてもいいのでは 《D》



●● 対応 ●●●

- ・ 広報紙については、新聞を購読されていない方等は、区役所にお申込みいただければ無料配送しています。また、区内の公共施設・商業施設等にも常時配架しています。
- ・ 令和元年5月号より表紙デザインを子育て世代や若年層を意識したものにリニューアルいたしました。
- ・ 読者アンケートを行っていた時期もありますが、回答がほとんど得られませんでした。今後、他のアンケートと併せての実施等を検討していきます。

SNS・YouTube



- SNSに登録してもらうための周知（メリット等）が必要《A》
- 高齢者向けの使い方講座、子ども向けの利用時の注意点や活用方法の講座など、年齢別に対応を精査すべき《A・D》
- 高齢者には区役所での待ち時間にアドバイスしたり、敬老大会や百歳体操で周知してはどうか《A》
- 広報紙は読む世代が限られているため、若い世代にはSNSを活用して情報発信すべき《B》
- 高齢者やSNSを使えない人への広報が不十分《C・D》
- Twitterのフォロワー数が少なすぎるのでは《C》
- Twitterは情報が多すぎる《C》
- LINEで1日1回、イベントや予防接種等の情報配信をしてほしい《D》
- 即時性が求められる情報（災害等）を、SNSで発信するとともに地域の広報板に貼ったり、地域での口伝えといった一定の枠組みをつくるなど、SNSで発信した情報について補完する取組を行政でしてほしい《D》
- YouTubeを検索してもなかなか出てこないの、検索をかけて上位に出るような工夫が必要《D》

●● 対応 ●●●

- 高齢者に対するSNSの普及については、「区役所からの広報を届ける」というよりも「一般的なICT理解の促進」という課題であると考えております。
広範かつ難解な課題でもありますので、大学連携等も活用しながら解決策を模索してまいります。
- SNSによる情報発信については、フォロワー数が最大になるように意識して、それぞれのSNS特性に応じて情報発信を行っています。
- LINEについては配信数が多くなるとブロック（配信拒否）される方が増えますので、発信する情報を厳選し、週2〜3通までの配信としています。

HP

【送付資料4】



- カレンダー情報を充実させる《A》
- やさしい日本語のページを充実させる《A》
- 内容は充実しているが、見にくい《D》

広報全体

- 区の広報媒体を知らない人も多いので、情報を伝えるために人のつながりが非常に大事《C》

●● 対応 ●●●

- 他方、Twitterについては区役所としてリアルタイムで発信すべき情報をどんどん出していくというスタンスで運用しています。より区民の皆様の生活に密着した情報を発信することがフォロワーの増につながると考えておりますので、今後も区民ニーズを意識した情報発信につなげてまいります。
- SNS情報が届かない方には、SNS情報が届いている方からの「クチコミ」が最も有効かつ効率的な伝達手段であるのが現状です。その「クチコミ」の伝播ルートについて、個別に行政で設定することは困難ですが、フォロワー数の増が伝播ルートの増につながると考えています。
- 広報紙平成31年4月号でLINEのメリットを記載して友だち登録を呼びかけたところ、1カ月間で100名を超える友だち登録がありました。今後も同様の呼びかけを行ってまいります。
- Youtubeにつきましては、現状、コンテンツが極めて少ない（令和元年6月末時点で3コンテンツ）状態ですので、まずはコンテンツ数を増やしていく必要があると考えています。
- 区ホームページにおける「やさしい日本語」ページにつきましては、大阪市のページへのリンクも活用しながら、充実を図ってまいります。
- カレンダー情報については、行事の繁閑状況により情報の多寡が発生します。